

『そして、僕らは風になる 走ることから学んだ夢をかなえる方法』

田中渉/著 マガジンハウス (Y913.6/タ)



やせっぽちで運動オンチな陸上部員と、毎日サンタクロースの服を着ている変なオトコ。ひよんなことから二人は出会い、やがて一緒に大きな夢を追い始めることとなります。その夢とは、フルマラソンに出ること。

各章いくつもの格言が盛り込まれていますが、それらは全て実在するアスリートたちの言葉。あなたの力になる言葉も、きっと見つけれられるはずです。

前向きに生きる力を与えてくれる、そんなあたたかい物語です。

『天使のすむ町』 アンジェラ・ジョンソン/作 小峰書店 (Y933.7/ジ)

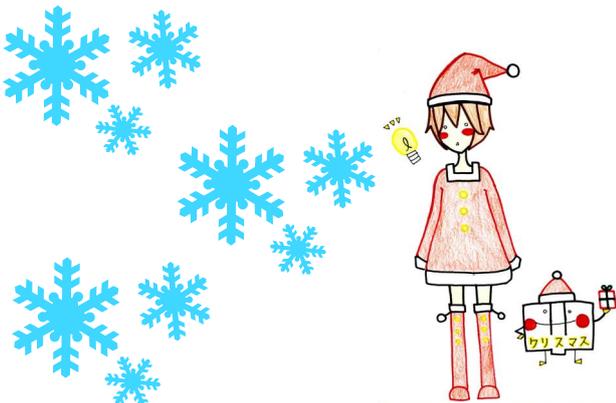
ヘヴンという町に住む14歳の少女マーリーは暖かい家族と友だちに囲まれて楽しい毎日を送っていました。ところがそんなある日、両親から実の親ではないことが明かされます。ずっと自分に嘘をついてきた両親にショックを隠せないながらも、自分に向けられていた愛情を再確認していくマーリー。血のつながりだけが親子ではないと気付いていく少女の成長を描いたお話です。



中央図書館では年に一度、社会で様々な活躍されている方をおまねきして、お仕事について話を聞けるイベントをおこなっています。

自分の将来について考えるきっかけになるかもしれません。ぜひ一度ご参加ください。

詳しくは図書館までお問い合わせください。



YA ブックリスト 第23号

平成24年12月発行

稲城市立中央図書館

稲城市向陽台4-6-18

☎042-378-7111

<http://www.library.inagi.tokyo.jp>

E-mail: inagilib@library.inagi.tokyo.jp

稲城市立図書館

ヤングアダルト

BOOK LIST



*Let's try and think
about ourselves*

いよいよ今年も残り少なくなってきました。
今年はどんな一年でしたか？
新年に新しい自分と向き合いたい人におすすめの
本を紹介いたします。



『「自分らしさ」って何だろう—個性を伸ばす』

佐々木宏／著 国土社 (Y159/サ)

自分の個性ってどうやって見つければいいのか…。
そのヒントになる一冊です。

無人島に持って行きたいものを5つ挙げなさい。もしも1億円あったら何に使う？お菓子会社でどんな仕事をしたい？…など少し変わった方法で「自分らしさ」を考えることができる本です。パラパラまんがもおまけに付いていて楽しい本となっています。

「YAのための【生きナビ】」シリーズの2巻です。

1巻『夢を持ってはいけません—目標達成力を身につける』

3巻『1日5分で君は変わる—賢人の人生に学ぶ』



『書で自己表現 自分と向き合う高校生たち』

須田章七郎／著 大月書店 (Y375.7/ス)



冬休みの宿題や、お正月の書初めなどで、書道をする人も多いのではないのでしょうか？お手本を見ながら書いていくスタイルが一般的かと思いますが、この本はそのスタイルに疑問を持った著者が「書で人間を育てる」を目標にした書道をご紹介します。自分と向き合って思い思いに書かれた高校生たちの作品は圧巻ですよ。

『ニノン しあわせってなあに？』オスカー・ブルニフィエ／文

イリス・ドウ・ムウイ／絵 ジュウ・ドウ・ポウム (Y726.6/ブ)

パリの小学校に通っているニノンはいろいろなことを考えるのが好きな女の子。ある日、学校に新しいワンピースを着ていたら友達にからかわれて悲しい気持ちになります。「悲しくなるなんてカンタン、たいしたことじゃなくても」とニノンは思います。ではしあわせになるにはどうしたらよいのでしょうか？

ニノンはパパやママ、友達とおしゃべりしながら考えていきます。

皆さんもニノンと一緒に考えてみませんか？おしゃべりなイラストの絵本です。



『12歳からの映画ガイド 生き抜く力を学ぶ！ 必見50本+150』

佐藤忠男／著 小学館 (Y778/サ)



映画評論家の佐藤忠男さんが、ヤングアダルト向けに選んだ50本の映画について、内容や見所、音楽などを紹介した本です。その映画からどんなことを学んだかについて書かれています。また、その50本と関連する映画150本(!)の説明もあります。

あらすじも簡単に紹介してあるので、観たい映画を探す手がかりにもなります。

気になった作品がありましたら、ぜひ図書館で探してみたいかがでしょうか？

『道は自分で切りひらく 大リーガーたちのチャレンジ』

広岡勲/著 岩波書店 (Y783/ヒ)



松井秀喜や野茂、イチローといった日本の大選手や海外の大リーグ選手たちの苦難そして挑戦。逆境に負けず、道を切り開いた大選手たちの生き方はどのようなものだったのか。

どんなに高い壁があってもあきらめない彼らの姿勢は、私たちに大きな勇気を与えてくれます。

『自分の世界をもちなさい 好きなことがあなたを強くする』

假屋崎省吾/著 PHP 研究所 (Y793/カ)

華道家で有名な假屋崎さんが、タイトルのように「自分の世界」を持つことの大切さを自分自身の体験談を語りながら教えてくれる本です。少年時代から人と面と向かって話すのが苦手な内気だったという假屋崎さん。自分が好きなこと、夢中になれるものは何だろうと真剣に考えた結果、「花に携わって生きていきたい」ということだと気付きます。「大事なことは、自分で決断する」今日のことは忘れて引きずらないよう「一日の終わりに反省しない」などはっとさせられる言葉もたくさん学べます。



『空を泳ぐ夢をみた NHK ネットコミュニケーション小説 1』

梨屋アリエ/著 ほるぷ出版 (Y913.6/エ)



今や携帯やインターネットの使用が生活の一部になりました。

とても便利な道具ですが、使い方を間違えると家族に迷惑をかけたたり、友達をキズつけてしまうことになります。この本は、小説と解説を読みながら「インターネットのつきあい方」について考えることができます。自分の使い方を確認し、正しいルールやマナーを学んでインターネットを楽しく使いましょう。

NHK ネットコミュニケーション小説シリーズは現在3巻まで所蔵があります。

2巻『ルミチカ』今井雅子

3巻『15歳の可能性』加瀬ヒサヲ